

## 目次

- 2-3面 母校同窓会会長ごあいさつ  
母校トピクス・母校通信
- 4-5面 総会幹事紹介（36回生）  
昨年の総会&40周年記念祝賀会の風景
- 6面 母校新校舎竣工記念抛金 贈呈式  
抛金された方々の氏名一覧
- 7面 活躍する在仙佐高生  
名生 伊智郎さん（高40回生）
- 8面 各種報告とご案内・協賛広告

## 佐沼高等学校在仙同窓会便り

# ひろがり

No.24

発行日:2025.7.30 発行者:佐高在仙同窓会広報誌委員会

お入かいり昨当皆す加望たからして等53当また盛の小氏年賜  
声しれく、年の会創様。賀に。からてに年会的厚  
をしま必要員の総立に改。賀に。70は、充ぶの記々く  
をいしにがの会40にめ。この万、てるの総、御  
かけないは、の会40に校よりま。この5、るの会、礼  
けてい、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
いたお、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
だ知、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
く合、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
な、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
ど、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
会、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
員、の会40に校よりま。この5、るの会、を  
増、の会40に校よりま。この5、るの会、を



佐沼高等学校在仙同窓会 会長  
五十嵐 信さん（高27回生）

在仙同窓会創立40周年を  
新たなスタートとして  
さらなる発展を祈念します

各位には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。



県警音楽隊によるミニコンサート

強への協力をお願いいたします。同窓会では、コロナ禍の後半から4年間、微力ではございますが、役員各位のご支援と事務局および役員の皆さんのご協力のもと、なんとか重責を務めることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

時空を超えて同窓の輪を広げていきましょう！

## 令和7年度 佐高在仙同窓会総会 & 懇親会

＜日時＞9月6日(土)16:00～ ＜場所＞パレスへいあん(青葉区本町1-2-2)

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、詳細と参加申し込みは同封の案内状をご参照ください。

＜幹事＞高36回生(昭和59年卒)

## 母校同窓会会長の「あいさつ」

佐沼高等学校同窓会 会長

氏名 良典さん（高20回生）



在仙同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本部同窓会総会は昨年8月3日に前年以上の170名を超える出席者で盛大に開催されました。

在仙同窓会・在京佐高会と比べ私より上の先輩方々が少し少ないのが寂しい気がします。

新校舎の外装工事はほぼ出来上がったように見受けられ、これから内装工事が始まるのかと思っております。

新校舎の工事が進むに伴い先月5月21日に新校舎落成記念事業実行委員会を設立開催いたしました。

主な事業は来秋11月に予定の①記念式典の開催、②記念モノメントの作成、設置、③その他となっており、本校同窓会、PTA、教職員、及び、この趣旨に賛同する方々で運営していこうと思っております。記念モノメントは卒業生（25回生）の大友克洋さん作成による陶板リリーフの事です。これを新校舎玄関に設置する計画です。大友さんに作成を依頼したところ、ご快諾いただきました。

ただこの陶板の設置には多大な費用の700万円がかかります。

実行委員会の大半の仕事は、この費用の捻出にあると思います。登米市内は無論、宮城県内外の同窓生のご協力をいただき目的を達成したいと考えております。在仙同窓会の皆様には、昨年40周年の折、新校舎竣工記念拠金していただき、また重ねてお願いするのは甚だ恐縮ですが、ご協力をよりしくお願い申し上げます。

結びに、在仙同窓の益々の発展と会員皆様のご健勝を重ねてお祈り申し上げ挨拶と致します。

## 母校トピックス



同（西側部分／同）



新校舎工事風景（令和7年6月28日撮影）

今年9月にはいよいよ新校舎が落成いたします。現段階では工事中的のため新校舎はシートに覆われており、未だ外観を目にすることはできませんが、「ロの字」型の校舎に円柱形の芸術棟（1F美術室、2F音楽室）が連結された、機能性、デザイン性ともに優れた校舎となります。公開後はなるべく早く本校ホームページにて紹介できればと考えております。「佐高のいま」をお伝えいたしたく、ホームページをぜひご覧ください。

## 母校や同窓会の

## 詳細情報はHPで

ご覧ください。

HPはこちら



## 大友克洋氏による 陶板レリーフ制作について

このたび、新校舎落成記念事業の「象徴」として、本校卒業生（高25回生）である、世界で活躍の漫画家／映画監督・大友克洋氏に、新校舎のエントランスを飾る作品の制作を依頼します。その作品は、焼き物の技術を用いた色彩豊かで立体的な絵画（陶板レリーフ）です。

佐沼高等学校の新たな門出にふさわしく、価値のある陶板レリーフを制作するため、在仙同窓会の皆様よりお力添えを賜りたく、特段のご支援をお願い申し上げます。

募金額…1口／5,000円（何口でも可）

期間…令和7年8月1日（金）

～令和8年8月31日（月）

募金方法…振り込み・郵便書留等

### 特典

ご芳志へのささやかな御礼として、募金くださった方々のお名前を刻んだ芳名板をレリーフ横に設置します。そのため、お振り込み・ご送金の際は、お名前の前に卒業回を「ご記入ください」とうお願いします。（卒業回／卒業年の対照表は佐沼高校ホームページに掲載しております）

記入例：（全日・定時の別、卒業回、氏名の順に）  
「全〇〇回佐沼太郎」

また、お振り込み・ご送金いただきました際は、お手数ではございますが、左記事務局にお電話をいただくか、佐沼高校ホームページにアクセスいただき、ご芳名をアンケートフォームからご回答くださいますようお願いいたします。



### 【募金に関するお問い合わせ】

宮城県佐沼高等学校

新校舎落成記念事業実行委員会事務局

TEL..02220・222・220222

メールアドレス..sanuma@odmymwashed.jp

（全日制教頭：小野寺剛／定時制教頭：高橋由樹）



## 母・校・通・信

5月下旬から6月にかけて、県高校総合体育大会が開催されました。昨年に続き、陸上競技部、ラグビー部、ボート部が上位入賞を果たし、東北大会へ駒を進めました。そのほか、剣道部が男子団体としては平成21年以来16年ぶりとなるベスト8進出、バドミントン部が男子団体としては平成24年以来13年ぶりとなるベスト8進出、柔道部男子個人73kg級でベスト8進出を果たし、それぞれ東北大会まであと一歩でした。

県総体、各種大会の結果等、近況をお知らせします。

## ●県総体結果

## 【ボート部】

- ・女子総合1位
- ・男子総合2位
- ・男子ダブルスカル1位
- （東北大会出場・1位）
- （インターハイ出場へ）
- ・女子ダブルスカル1位
- （東北大会出場・1位）
- （インターハイ出場へ）
- ・男子舵手付き
- クオドルプル3位
- （東北大会出場・5位）
- ・女子舵手付き
- クオドルプル2位
- （東北大会出場・予選／敗者復活敗退）
- ・女子シングル
- スカル2位
- （東北大会出場・予選／敗者復活敗退）



県大会を優勝した男女ダブルスカルは、8月に広島県で行われるインターハイへの出場権を獲得しました。

## 【ラグビー部】

- ・2位（東北大会出場・第一部2位）

## 【陸上競技部】

- ・女子棒高跳3位
- （及川夏澄、東北大会出場・9位）
- ／5位／8位
- ・男子棒高跳4位
- （後藤悠作、東北大会出場・16位）
- ／6位
- （吉田倫、東北大会出場・記録なし）
- ・男子400mH3位
- （鈴木陽世、東北大会出場・準決勝敗退）
- ・男子円盤投4位
- （佐藤駿、東北大会出場・21位）
- ・男子砲丸投7位

## 【剣道部】

- ・男子団体 準々決勝進出（ベスト8）
- ・女子団体 予選リーグ敗退（1勝1敗）
- ・男子個人 3回戦（ベスト32）
- 1名、2回戦1名
- ・女子個人 3回戦（ベスト32）
- 2名



## 【バドミントン部】

- ・男子団体 ベスト8
- ・女子団体 2回戦

## 【ソフトテニス部】

- ・女子団体 3回戦（ベスト16）
- ・女子個人 3回戦1ペア、
- 2回戦4ペア
- 1回戦
- ・男子団体 3回戦1ペア
- ・男子個人 2回戦2ペア
- 1回戦3ペア

## 【柔道部】

- ・男子団体 予選リーグ敗退
- ・男子個人 73kg級 ベスト8
- ・男子個人 60kg級 2回戦 2名
- ・男子個人 66kg級 1回戦
- ・男子個人 81kg級 2回戦
- ・女子個人 63kg級 1回戦

## 【卓球部】

- ・男子学校対抗 1回戦
- ・男子シングルス 2回戦 3名
- 1回戦1名
- ・女子学校対抗 2回戦
- ・女子ダブルス 2回戦、1回戦
- ・女子シングルス 3回戦 1名
- 2回戦 4名

## 【バスケットボール部】

- ・女子 ベスト16
- ・男子 ベスト16

## 【バレーボール部】

- ・男子 ベスト16
- ・女子 ベスト16

## 【ソフトボール部】

- ・1回戦

## 【サッカー部】

- ・1回戦

## 【ハンドボール部】

- ・1回戦

## 【水泳部】

- ・男子 50m自由形
  - ・男子 100m自由形
  - ・男子 100m平泳ぎ
  - ・男子 100mバタフライ
  - ・男子 4×100mフリーリレー
  - ・男子 4×100mメドレーリレー
  - ・女子 50m自由形
  - ・女子 100m背泳ぎ
  - ・女子 200m背泳ぎ
  - ・女子 4×100mメドレーリレー
- 予選敗退

## ●栗原登米支部総合文化祭

## 【茶華道部】



6月28日御園棚を使ったお点前

## ●各種大会結果

- 【野球部】春季県高校野球地区予選
- ・1勝1敗（予選敗退）

## ●第49回全国高等学校総合文化祭

（高松市美術館・7/26～31）

美術部 展覧作品

・阿部真悠子（3年・津山中出身）

「FUNNY OWL」

作者コメント…

「この絵を見た時に、自分だけでなくたくさんの人々にも楽しんでもらいたいという思いから、遠くから見るとフクロウが見え、近くで見ると動物や模様が見える絵を描きました。」



# Mes s a g e s f r o m 36回生

## 9月の総会幹事を代表して

6月27日、今年の当番幹事の中から7名が総会に向けての話し合いで集まりました。その際、近況や高校時代の思い出、母校や故郷への思いを寄せていただきましたのでご紹介します。

(五十音順)



小竹学

佐沼中学校卒。長年勤務した金融機関から現在出向中、不動産会社で悪戦苦闘中です。高校時代は野球部に所属し、特に1年生の頃は早朝グラウンド整備→授業中仮眠→早弁→昼休みグラウンド整備→授業中仮眠→全体練習→練習後先輩方からのご指導とハードな日々で、3年間野球漬けでした。野球部創部以来まだ甲子園に出場していませんので是非出場し、あわよくば1勝を勝ちとり校歌をみなさんと一緒に歌うことが出来れば！



今野孝

佐沼中学校出身で、銀行勤務を経て現在は放送局で働いています。プライベートでは子ども達の部活動の追っかけが楽しみに。高校時代は野球部に所属していましたが、今では考えられない水分補給が禁じられた猛暑の練習、そして極寒のマラソンも厳しかったなあ。還暦の年を迎え、「故郷は遠きにありて思うもの」をしみじみと実感します。



相樂英敏

出身校は佐沼中学。銀行やコンサル会社を経て、現在は県の外郭団体で被災企業支援を行っています。高校時代で思い出深いのは、ラグビー部に入っていてケガで何回か松葉杖で学校の階段の昇り降りをしたことですね。母校に期待することとしては、ラグビー部もそうですが、是非今後も単独チームで頑張ってほしいです。



島谷留美子

福島県郡山市立第三中学校卒。現在は、各地の観光まちづくりや道の駅等交流拠点施設の計画づくり、過疎地域の支援等に携わっています。高校時代は軟式テニス部で毎日早朝から日没後まで練習し真つ黒に日焼け。具合が悪く保健室に行った際「顔色とても良いよ」と教室に帰されたことも(笑)。佐沼高校で学び、部活に励み、笑ったり泣いたりしながら過ごした3年間は私のベースとなっています。



菅松(旧姓熊谷)明子

佐沼中学校出身、現在3人の孫(うち双子が1組、全員男の子)に弄ばれる日々です(笑)。高校時代はテニス部に所属、テニス一筋な真つ黒女子高生でした！楽しい仲間とのびのびと過ごせた幸せな時代だったなあ。後輩の皆さん、故郷の栄養を存分に味わって、そして蓄えて、思い出深い青春時代を送ってくださいね！



高橋慎二

出身校は佐沼中学、現在はプロドライバーとして活動、プライベートでは映画、海外ドラマを見まくっています。ラグビー部での冬の筋トレ



三浦正彦

東和中学校出身、高校卒業後自衛隊に入り、その後巡回型健康診断業務に3年従事。現在は調理製菓専門学校のパティシエコースの学生2年生です。高校時代は、バドミントン部だったので部活ばかりしていた事が思い出です。今後については、専門学校を卒業したら故郷の東和町米川に帰り、キッチンカーかコーヒーショップをやりたい地域に少しでも貢献したいと思っています。

9月の総会幹事として、ご参加の皆さんが楽しく思い出を語れる場所になれば」と準備に臨んでいたみなさん。盛り上げを期待しています。





創立40周年を祝った県警音楽隊によるミニコンサートでスタート



恒例の校歌斉唱



参加者全員の万歳三唱で盛会裏のうちに終了



## 令和6年総会&在仙同窓会創立40周年を祝う会

今年も9月6日（土）に定期総会と懇親会を開催します。  
年に一度、同窓の老若男女が一堂に会する一大イベントです。  
皆様のご参加を心からお待ちしています。（令和7年幹事36回生）



寄贈した大型暖房機2台



5月14日校長室で五十嵐会長から加賀谷校長に目録が手渡されました。



# 母校新校舎竣工記念拠金

ご支援ご協力ありがとうございました。

新校舎竣工記念拠金に  
ご協力いただいた皆様

(順不同・敬称略) 155名

赤松 澄雄	太田 正昭	熊澤 美佐子	佐々木 真奈美	菅原 裕光	蜂屋 恵美
渥美 英夫	近江 初江	小関 久	佐々木 安夫	菅原 雄八	羽生 正弘
阿部 勇雄	岡本 智悦	後藤 恭示	佐々木 康猛	杉山 孝二	早坂 智子
阿部 数則	女川 敦	後藤 秀一	佐々木 良泰	鈴木 勇	早坂 充
阿部 孝	小野 栄	後藤 次男	佐藤 逸郎	鈴木 和芳	福岡 繁明
五十嵐 信二	小野 矩雄	小林 栄子	佐藤 哲	鈴木 寿美子	藤岡 常子
五十嵐 信	小野 理央	小山 美樹	佐藤 次郎	鈴木 辰彦	藤松 義晴
伊藤 祥江	小野 正高	今 せい子	佐藤 新光	鈴木 博文	富士原 宏至
伊藤 博幸	小野 由美子	今 孝	佐藤 卓郎	鈴木 孝彦	降旗 武
伊藤 康宏	小野 良太	金野 陽一	佐藤 宣子	関口 怜子	星 学
伊東 洋子	片倉 まつみ	西條 佳行	佐藤 則夫	高橋 えり子	堀越 節
伊藤 芳春	門脇 むつ子	齋藤 恵子	佐藤 憲雄	高橋 きよ枝	本田 文恵
稲辺 博幸	鎌田 徹	齋藤 眞佐子	佐藤 英武	高橋 正義	松田 工ヨ子
岩淵 旬一	金澤 マルミ	酒井 淳	佐藤 瞳	高橋 裕一	松本 和三
遠藤 政輝	亀井 寿	榎原 恒吉	佐藤 義明	太齋 悦子	三浦 修二
及川 幸治	菊田 郁郎	佐久間 由美子	塩野 眞	田村 秋志	三浦 正彦
及川 文昭	菊地 文子	末永 栄子	塩野 修	千葉 敦子	三浦 義喜
大江 晃	熊谷 龍史郎	佐々木 成幸	滋野 千榮	千葉 清	名生 伊智郎
大井川 貴彦	日下 敦	佐々木 正三	島谷 留美子	千葉 弘一	武蔵 惣一
		佐々木 鉄男	庄司 吉朗	千葉 貞男	茂木 彰
		佐々木 奈津江	白旗 崇敬	千葉 寛	八巻 恵
			進藤 和志	千葉 孝彦	山田 きえ子
			末永 栄子	中澤 淳	山本 琴枝
			菅原 晃	中沢 常夫	山本 公義
			菅原 緊	中津川 澄男	由利 宗子
			菅原 澄恵	永野 邦明	吉田 嘉子
			菅原 誠	中村 信夫	渡辺 祥子
				二階堂 昇輝	渡辺 博
					渡辺 政明



## 活躍する在仙同窓生

## 自ら求めて励む

東北管区警察学校  
指導部警務術科教官室教授  
名生 伊智郎さん（高40回生）



名生 伊智郎さん

昨年の暮れ、テレビの県内ニュースで「宮城で6年ぶりに最高峰・剣道八段誕生。県内5人目の快挙」との報道を目にしました。〜ということは、母校佐沼高校卒の名生伊智郎さんが県内4人目の八段に昇格してから6年が経つんだ、と当時話題を集めたことを思い出しました。

合格率0.8%といわれる最難関の域にはどんな世界が広がっているのか、そして最高段位である八段昇格から6年、昇格前と後での変化はあるのかなど、お聞きしたいこと満載で多賀城にある警察学校を訪ねました。

インタビュー…

在仙佐高会 副会長 渡辺 祥子  
（高36回生/フリーアナウンサー）

## インタビュー

（渡辺）八段昇格から6年半が経ちますが、変化はありますか？

（名生）合格した時はとても嬉しかったのですが、それは初日だけで、翌日から責任というプレッシャーを強く感じるようになりました。「あんなのが八段？」と言われないよう、技だけでなく礼儀や人としての在り方など、神経を巡らせています。八段になってからの方が修行、というか厳しさを感じていますね。

（渡辺）最高段位になったから安心、ではないのですか？

（名生）むしろ逆ですね。私は5回目の挑戦で合格したのですが、「勝ちたいとか、打たれたくない」などの欲が出ては合格しません。

（渡辺）いわゆる無心という事でしょうか。合格した5回目の審査の時…？

（名生）どんな技を出したか、覚えていないんです。身体が自然に動いた…。過去の4回とは全く違ったんです。「負けたくない」、「良い技を出してやろう」など、全てを捨てたところにあるのが八段の世界なのかもしれません。

（渡辺）剣道との出会いはいつ頃ですか？

（名生）小学校5年生の時です。当時落ち着きがなく、母方の祖父が剣道をやっていたことから「礼儀が身につけて落つきが出るのではないか」と母の勧めで始めました。近所の中野目医院の院長先生に教えてもらい、ジャージに赤胴をつ

けて迫川の土手で素振りや打ち込みをしていました。

（渡辺）佐沼高校剣道部時代で印象に残っていることは？

（名生）剣道部顧問の白旗先生は礼儀礼節に厳しい方でしたが、「自分で考えて稽古をする」という、一人一人の自主性を大事にしてくれました。道場に掲げられていた「自強（じきよう）」という文字は、「自ら求めて励みなさい」という精神を謳っています。これがあつたから、私は今でも剣道を続けているともいえます。ぜひ後輩の皆さんにも、その心を受け継いでいってほしいです。

（渡辺）最高段位保持者として剣道と向き合うこれらについてお聞かせください。

（名生）これは全日本剣道演武大会の今年の写真（左下）ですが、私は八段の部に出場しました。相手は大阪府警の剣道師範で、現役時代に全国大会で優勝経験のある強豪。実力者ですので余計なことは考えず無心を心掛けて試合に臨んだ結果、体が自然に反応して、相手の出鼻に小手を決め勝利することができました。この試合を通じて、欲を持たないこと、無心であることがいかに大切であるかを再認識しました。こうした精神をこれからも大事にしていきたいと思っています。

（渡辺）佐沼高校剣道部のホームページには、「OBに剣道界最高段位八段の先輩がいらっしゃる県内でも数少ない伝統ある部」と紹介があります。これから後輩たちの目標であり続けて下さい。



令和七年度第121回全日本剣道演武大会にて（毎年京都市の武徳殿で開催）



東北管区警察学校の道場にて。背筋が伸びます。

